

夏休み企画展「生誕200年記念 稲むらの火 濱口梧陵」出陳資料目録

I 梧陵のふるさと

番号指定	資料名	員数	時代	所蔵者	資料の簡単な説明
1	有田郡絵図 大江霞岳筆	1巻	嘉永元年(1848)	和歌山県立博物館	170年ほど前の有田郡の村々をカラフルに描く
2	大辺路図	1帖	江戸時代(18~19世紀)	和歌山県立博物館	海沿いの街道(大辺路)周辺の風景を描く
3	紀州湯浅町図(湯浅図屏風)	4曲1隻	明治時代(19世紀)	湯浅町教育委員会	湯浅の町や湯浅湾の風景を東側から描く
4	絵はがき(紀州有田名所)	8枚	昭和時代(20世紀)	和歌山県立博物館	90年ほど前の湯浅の風景を撮影した写真
5	熊中奇観 下巻	1巻	江戸時代(18~19世紀)	和歌山県立博物館	江戸時代の熊野街道の景観を海側から描く
6	広浦往古ヨリ成行覚	1冊	寛政6年(1794)	広八幡神社	広浦の庄屋が記した広浦の繁栄と衰退の歴史
7	広村地籍表	1冊	明治8年(1875)	広川町教育委員会	広村の耕地・道・水路・堤防などを調査した図面
8	明細取調御達帳	1冊	明治6年(1873)	広川町教育委員会	大・小区制の実施に伴い調査された広村の概要
9	広浦大波戸再築記録	1冊	享和2年(1802)	広川町教育委員会	大波戸と呼ばれた波戸場を修復した記録
10	大波戸御普請御用留	1冊	嘉永元年(1848)	広川町教育委員会	大波戸を再び修復するため藩に出された願書

II 祖父・灌圃と周辺の人びと

番号指定	資料名	員数	時代	所蔵者	資料の簡単な説明
11	山水図 濱口灌圃筆	1幅	江戸時代(19世紀)	和歌山県立博物館	梧陵の祖父・灌圃が描いた中国風の風景画
12	菖蒲湾詩画卷 野呂松廬筆	1巻	文政12年(1829)	和歌山県立博物館	野呂松廬が描いた湯浅・栖原海岸の風景画
13	秋景山水図 平林無方筆	1幅	文政9年(1826)	和歌山県立博物館	福蔵寺の平林無方が描いた中国風の風景画
14	蘭石図巻 野呂介石筆	1巻	文政6年(1823)	和歌山県立博物館	野呂介石が平林無方のために描いた絵手本
15	広八幡神社祭礼行列図	1幅	明治8年(1875)	和歌山県立博物館	広八幡神社の祭礼で行われる渡御行列を描く
16	年々楽方勘定録	1冊	文化3~10年(1806~13)	広八幡神社	広八幡神社の祭礼で楽奏が復活した時の記録
17	笙・箏・龍笛	3管	江戸時代	広八幡神社	広八幡神社の祭礼で使用された管楽器
18	八朔定帳	1冊	文化13年(1816)~万延元年(1860)	広八幡神社	渡御行列での各集落の役割分担を記した帳簿
19	鼻高面	1面	天正17年(1589)	広八幡神社	広八幡神社の祭礼で使用された鼻の高い仮面
20	南紀徳川史 巻之百七	1冊	明治31年(1898)	紀州東照宮	1841年ごろ地主であった家の名簿

III 安政地震津波と梧陵・咏処

番号指定	資料名	員数	時代	所蔵者	資料の簡単な説明
21	瓦版 大地震早引方角附	1枚	嘉永7年(1854)刷	和歌山市立博物館	1854年に伊賀上野で起こった地震の被害状況
22	瓦版 紀州大地震 大津浪の次第	1枚	嘉永7年(1854)刷	和歌山市立博物館	1854年に起こった東海・南海地震の被害状況
23	瓦版 江戸本調大地震并出火方角附	1枚	安政2年(1855)刷	湯浅町教育委員会	1855年に起こった江戸地震の被害状況
24	△ 安政聞録 古田咏処筆	1冊	安政4年(1857)	養源寺	安政地震を全国規模で調査した記録
25	雨窓茶話写	1冊	江戸~明治時代(19世紀)	和歌山県立図書館	145年前の宝永地震の被害状況をまとめる
26	山水画卷 古田咏処筆	1巻	明治5年(1872)	和歌山県立博物館	古田咏処が描いた那智の滝
27	嘉永七年高海之図	2幅	嘉永7年(1854)以降	円光寺	安政地震に伴う大津波を描いた二枚の絵
28	宮割常式記事	1冊	文化6年(1809)~安政2年(1855)	広八幡神社	津波の被害や梧陵の事績を忘れないための取組
29	村方助成積金講一株加入金請取書	1通	明治3年(1870)	和歌山市立博物館	梧陵らが広村住人のために作った相互扶助組織

IV 幕末・維新时期における梧陵と海荘

番号指定	資料名	員数	時代	所蔵者	資料の簡単な説明
30	濱口梧陵書状 籠谷叔父宛	1通	天保3~5年(1832~34)	湯浅町教育委員会	銚子にいた梧陵が広村の叔父に出した年賀状
31	扁額「耐久社」	1面	慶応2年(1866)	広川町	耐久社の入り口に掲げられた名称板
32	ペリー来航図写	1幅	嘉永6年(1853)以降	和歌山市立博物館	ペリー率いる黒船が浦賀に現れた様子を描く
33	異船記 七・八	2冊	安政3年(1856)	和歌山県立図書館	ロシア船ディアナ号への紀伊藩の対応を記す
34	和歌山御家中御目見以上以下伊呂波寄惣姓名帳	1冊	明治23年(1890)	和歌山県立文書館	いろは順に並べた紀伊藩士の名簿
35	背旗	1旗	江戸時代(19世紀)	稲むらの火の館	梧陵が鎧の背に指した小旗
36	菊地海荘像	1幅	江戸時代(19世紀)	和歌山市立博物館	栖原村出身の菊池海荘の肖像画
37	世情手控え図	4枚	江戸~明治時代(19世紀)	個人	幕末の湯浅村や広村を描いたスケッチ画
38	紀伊国名所図会後編 巻之四	1冊	嘉永4年(1851)	和歌山県立博物館	深寺寺周辺の様子を描いた図
39	民政局用事留 一・二	2冊	明治2年(1869)	湯浅町	有田郡民政副知局事の菊池海荘が記した記録
40	夏之夜がたり	1冊	明治42年(1909)	稲むらの火の館	広村出身の渋谷伝八が書いた広村の歴史
41	染付四君子図菓子鉢	1口	明治2~3年(1869~70)	和歌山県立博物館	蘭・菊・梅・竹の四つの植物を染付で描いた鉢
42	染付獅子図香炉 光川亭仙馬作	1口	明治4年(1871)	和歌山県立博物館	岩場を駆け上がる獅子を染付で描いた香炉
43	和歌山県名所図録	1冊	明治32年(1898)	興山寺	1899年ごろの広八幡神社の境内を描く
44	拓本 梧陵濱口君碑	1枚	現代	個人	勝海舟が梧陵の成し遂げた業績を記す
45	濱口梧陵伝 杉村広太郎著	1冊	大正9年(1920)	和歌山県立図書館	梧陵生誕百年を記念して作成された伝記

V 梧陵に学ぶ -「災害の記憶」の継承-

番号指定	資料名	員数	時代	所蔵者	資料の簡単な説明
46	□ 万代日並記(岡本家文書)	1冊	嘉永7年(1854)	個人	和歌山城下町での安政地震の被害を記す
47	花園村災害調査図	1冊	昭和28年(1953)	和歌山県立文書館	1953年の集中豪雨の被害状況を記した地図
48	古今年代記	1冊	江戸時代(18~19世紀)	和歌山県立博物館	宝永地震津波の比井浦での被害を書き記す
49	津波之由来記録下書	1冊	嘉永7年(1854)	和歌山県立文書館	安政地震津波の横浜村での被害を書き記す
50	日高川河口絵図(瀬戸家文書)	1冊	天保3年(1832)	個人	宝永地震に伴う津波への防災対策の痕跡
51	拓本 高浪溺死霊魂之墓	4枚	現代	和歌山県立博物館	宝永地震津波の印南浦における浸水域を示す
52	拓本 為後監	2枚	現代	和歌山県立博物館	安政地震津波に襲われた際の避難場所を示す
53	拓本 天満の大津浪記念碑	4枚	現代	和歌山県立博物館	昭和東南海地震津波に襲われた惨状を伝える
54	南珠寺旧山門部材	1枚	安政5年(1858)カ	南珠寺	流木の再利用で、安政地震の記憶を伝える
55	紀州新宮城絵図	1冊	宝永5年(1708)	和歌山県立博物館	宝永地震で破損した新宮城石垣の修復願

* □は和歌山県指定文化財、△は広川町指定有形文化財を示します。